

## 平成28年度施策評価調査書

整理番号	31
評価担当課	学校教育課
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	健康教育と安全確保(5-3-3)		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり(教育・文化・スポーツ)
	主要施策	3	小中学校教育の充実

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	学校保健安全法の趣旨に則り、安全な環境の下で教育活動が展開されるよう各種施策を実施する。また安全・安心な学校給食を提供するため必要な対策を講じる。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	各学校に学校医等の配置や児童生徒及び教員の健康診断などを実施している。また美味しく安全・安心な給食を提供するため、年次的に厨房設備などを更新している。
施策の課題	学校保健に関しては特に問題はない。学校給食の提供においては、厨房設備の更新について充当財源がないため、計画的な更新が必要となっている。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
厨房機器等の計画的な更新	安全安心な給食を提供するため、年次的に厨房機器を更新する。	目標値	1	2	3	
		実績値	1	1	3	
		進捗率	100%	50%	100%	
学校医等の配置	市内14小中学校に医師、歯科医、薬剤師を配置する。	目標値	14	14	14	
		実績値	14	14	14	
		進捗率	100%	100%	100%	
児童生徒及び教員の健康診断	学校保健安全法に則り、児童生徒及び職員の健康診断を実施する。	目標値	14	14	14	
		実績値	14	14	14	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	学校保健安全法に定められた各種事業に取り組んでいる。また安全・安心な給食の提供のため、財源確保に問題はあるものの、計画的に厨房機器等の更新を行っている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も健全な学校運営のため、保健事業や給食センターの厨房設備等の更新を行っていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	学校保健推進事業	学校医等の配置や児童生徒及び教職員の健康診断などを行う	13,601	a	a	a	a	a	A	A	A
2	厨房設備等整備事業	安全・安心な給食の提供のため、老朽化した厨房設備を随時更新する。	6,281	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	31	枝番	1
評価担当者・係・職名・氏名	学校教育課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	学校保健推進事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	3	小中学校教育の充実
		基本事業	3	健康教育と安全確保
		実施計画事業	1	学校保健の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	学校における児童生徒及び教員の健康の保持増進を図ることを目的とする			
対象(何を又は誰を)	市内小中学校の児童生徒及び教員			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	学校医等の配置や児童生徒及び教員の健康診断などを実施する			
意図(どのような成果を期待しているか)	学校における教育活動が安全な環境において実施される			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> 請負 <input type="checkbox"/> その他( )			
事業実施期間	始期	H18 年度	終期設定	有 (終期 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無
根拠法令・条例等	学校保健安全法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 ( 年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 学校医等の配置	校	目標	14	14	14	12	
			実績	14	14	14	12	
	2 児童生徒及び教員の健康診断	校	目標	14	14	14	12	
			実績	14	14	14	12	
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	12,676	12,419	13,601	12,793	学校医等の配置 4,752 教職員健康診断 1,997	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	12,676	12,419	13,601	12,793		
人件費	3,342	3,315	3,245	3,122		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	0.50	0.50	0.50	0.50		
総事業費	16,018	15,734	16,846	15,915		
対前年比(%)	—	98	107	94	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	1,144	1,124	1,203	1,326	総事業費 更新件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	教育活動が安全な環境で行われるために市が主体的に行わなければならない
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	安全、安心な学校活動を維持するためには必要である
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	学校保健安全法に定められた取組であり、削減の余地はない
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	学校保健安全法に定められた取組であり、適正かつ偏りもない
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	児童生徒及び教員の健康診断等を実施することにより、安全安心な学校活動が維持できた。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	安全・安心な学校運営を行うには必要な事業である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B.C.Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	31	枝番	2
評価担当者・係・職名・氏名	名寄市学校給食センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	厨房設備等整備事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	3	小中学校教育の充実
		基本事業	3	健康教育と安全確保
		実施計画事業	4	学校給食の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	老朽化した厨房機器等を計画的に更新することにより、安全・安心な給食を提供する			
対象(何を又は誰を)	市内小中学校、町内会等			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	老朽化した厨房機器等を計画的に更新する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	支障なく厨房機器が稼働することにより、美味しく安全・安心な給食を安定的に供給する。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助等 <input type="radio"/> 請負 <input type="radio"/> その他( )			
事業実施期間	始期	19年度	終期設定	有(終期年度) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 厨房機器等更新件数	件	目標	1	2	3	3	
			実績	1	1	3	3	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	5,478	28,890	6,281	13,000	配送車更新 4,932 自動手洗器更新 269 冷凍庫更新 1,080	
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	5,478	28,890	6,281	13,000		
人件費	668	663	649	624		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10		
総事業費	6,146	29,553	6,930	13,624		
対前年比(%)	—	481	23	197	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	5,812	29,221	2,093	4,333	総事業費 更新件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	学校給食の安定的供給に必要な事業
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	安全、安心な学校給食を維持するためには必要である
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	機器の更新により、安定した供給が図られ、成果は発揮されている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	教育環境の整備の一つであり、適正であり、かつ偏りもない。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	達成率は88%である。(目標件数9件に対し、実績件数が8件)

5 1次評価

評価結果	理由	
A	学校給食の提供を安定的に実施するには必要な事業である。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B.C.Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり